

02 萩(長州)藩

立藩時● 37 万石

名門毛利一族が治める
明治維新の中心的存在

徳川家康が天下を統一すると、西軍に与した中国地方を治めていた毛利輝元は滅封され、長門国と周防国が嫡男・秀就に与えられ、それ以後この地を永きに渡って治めてきた。幕末になると藩には人材が多く集まり、倒幕運動の中心的存在となって明治政府に多くの人材を輩出した。

番号	藩名	石高	代表的家名
01	津和野藩	3万石	亀井家
02	萩藩	37万石	毛利家
03	清末藩	1万石	毛利家
04	長府藩	6万石	毛利家
05	徳山藩	4万5千石	毛利家
06	広島藩	42万6千石	浅野家
07	福岡藩	52万3千石	黒田家
08	小倉藩	39万9千石	細川家
09	秋月藩	5万石	黒田家
10	中津藩	8万石	奥平家
11	唐津藩	8万3千石	小笠原家
12	平戸藩	6万3千石	松浦家
13	小城藩	7万3千石	鍋島家
14	蓮池藩	5万2千石	鍋島家
15	久留米藩	21万石	有馬家
16	佐賀藩	35万7千石	鍋島家
17	柳河藩	10万9千石	立花家
18	大村藩	2万7千石	大村家

06 広島藩

立藩時● 42.6 万石

250年の長期支配
浅野氏の台頭

福島正則が治めていたが、広島城無断改築を咎められ、改易となった。その後、浅野長晟が入封すると12代250年浅野家の支配となる。分家には忠臣蔵で有名な赤穂藩主浅野長矩があり、刃傷事件の際に浅野本家は終始この事件と距離を保ち、累が及ぶことを避けた。

番号	藩名	石高	代表的家名
19	鹿島藩	2万5千石	鍋島家
20	杵築藩	4万石	松平(能見)家
21	日出藩	3万石	木下家
22	熊本藩	54万石	細川家
23	宇土藩	3万石	細川家
24	佐伯藩	2万石	毛利家
25	島原藩	4万石	松平(深溝)家
26	岡藩	7万石	中川家
27	臼杵藩	5万石	稲葉家
28	府内藩	2万石	松平(大給)家
29	延岡藩	5万3千石	内藤家
30	人吉藩	2万2千石	相良家
31	高鍋藩	3万石	秋月家
32	佐土原藩	3万石	島津家
33	鹿児島藩	77万石	島津家
34	飫肥藩	5万7千石	伊東家

07 福岡藩

立藩時● 52.3 万石

名軍師・黒田官兵衛の
血脈が受け継がれる地

1600年に黒田長政が入封して以来、この地の黒田家支配が始まった。日本三大御家騒動の一つである黒田騒動が起きたのはこの地である。福岡藩の名前の由来は、黒田官兵衛の曾祖父・黒田高政以来の故地である備前福岡の名を取って、福岡藩としたと言われている。

16 佐賀藩

立藩時● 35.7 万石

日本で最初の
産業革命の地

龍造寺家の家老・鍋島直茂は龍造寺家の衰退によって、その領地を継承し、所領を安堵される。藩内では武士、庶民を問わず他領への移住、他領からの移住を禁じており、閉鎖的な藩である一方、幕府から長崎警備の命を受けていたために、諸外国の最新技術をいち早く導入していた。

22 熊本藩

立藩時● 54 万石

領民に優しい
政策で一揆無し

江戸時代以前、もともとこの地域は一揆が多く起こりやすい地域であったが、細川家が入ると独自の行政制度を敷き、幕末には地方のインフラを整えるなど領内の治安を維持していた。そのため江戸時代を通じて農民は比較的に豊かで熊本藩では百姓一揆が起こらなかった。

33 鹿児島藩

立藩時● 77 万石

琉球との密貿易で
藩財政を好転させた

鹿児島藩は、立藩時から島津家が治めており、外様大名でありながら石高は加賀藩に次ぐ程。しかし九州南端の地という台風や火山噴火などの災害を受け易い立地であったため、藩政初期から財政は窮乏に陥っていたとされている。その後藩政改革により琉球との貿易で財政は回復した。

江戸期以前より
反乱が頻発する
統治し難き土地

九州中国 (一部)

地方別立藩地図

鹿児島藩 ● 初代/島津家久

福岡藩 ● 初代/黒田長政

福岡藩 ● 藩祖/黒田如水

小倉藩 ● 初代/細川忠興

佐賀藩 ● 藩祖/鍋島直茂

この地は、二つの家が江戸初期から幕末、明治期にかけて領地を治めている藩が多い。また、九州の大半が外様大名で構成されていて幕末の討幕運動で活躍した雄藩が多く存在している。江戸から最も離れているために、幕府の支配が及ばない九州という地から始まる明治維新の要の場所。

「大日本国全図」●京極堂
「鍋島直茂」●国立国会図書館蔵
「黒田長政」●国立国会図書館蔵
「黒田如水」●国立国会図書館蔵
「島津家久」●国立国会図書館蔵
「細川忠興」●国立国会図書館蔵

※このページは江戸期に成立した藩を示しており、成立年代が異なる藩も載っています。